



JS 十八親和銀行

「工場の心臓」、ほんだポンプ。

唯一無二の100%オーダーメイドで
最適な液体移送ソリューションを届ける。

本多機工株式会社

代表取締役社長
龍造寺 健介氏

取引店 / 十八親和銀行 福岡中央支店

■会社概要

創業1949年 / 設立1951年 / 所在地福岡県嘉麻市 / 資本金9,000万円 / 従業員146名 / 事業内容: 産業用特殊ポンプの開発・設計・製造・販売・保守・メンテナンス / 事業拠点: (本社、工場) 福岡県嘉麻市(支店) 東京都千代田区、大塚市北区 / 関連会社: 本多商事株式会社、有明会社本多興産

会社ホームページ
2566-6234



高度成長期の日本とともに発展 アメリカで経営手腕を磨いた 四代目へ承継

当社は1949年に長崎出身の本多初義はつよしが福岡市中央区で本多機工商会を創業したのが始まりで、1951年に本多機工株式会社を設立いたしました。以来、ポンプ一筋に100%オーダーメイドの受注生産を行っています。設立当時、日本では戦後の復興や高度経済成長期を迎え、日本中で工場建設やインフラ整備が進んでいました。当社のポンプに対する需要も旺盛で、福岡市博多区内への工場移転や新たな工場を新設するなど順調に事業を拡大してきました。そうした中、J・R博多駅新設という一大プロジェクトが立ち上がり博多区を中心に大規模な土地が必要となりました。このことがひとつの契機となり、一念発起して1974年に福岡県嘉穂郡稲築町（現・嘉麻市山野）へと本拠地を移すこととなります。

当時の嘉穂郡は炭鉱の跡地でありましたが、本多初義は、従業員が家族と住むための団地を建て、従業員全員を引き連れて嘉穂郡へ向かったそうです。経営者としての一大決心だった

ことは想像に難くありませんが、福岡市にあった既存3工場を一カ所に集約した工場を新設して、生産工程の効率化を実現するに至ったことは間違いなく先見の明があったといえます。

私自身は17歳からアメリカへ留学し、高校・大学と通学しながら、カリフォルニアでオープンした日本食レストラン「YOSHIS」のアルバイトに勤しみました。その後、アメリカでレストラン事業を展開する大手日本企業にヘッドハンティングされ、現地代表としてカリフォルニアやハワイでレストランの立ち上げと運営を手掛けました。

永住権を取得しアメリカを本拠地として生活する中で、本多の娘である妻と知り合い家庭を築いたのですが、義父・本多初義が逝去、その10年後に二代目社長を務めた本多賢二けんじが逝去したことから、私に後継の声掛けがありました。すでにハワイで生活の礎を築き始めていた私は即座に引き受けることはありませんでしたが、三代目社長にプロパーの工場長であった福島敏夫としおが就任したのち、「日本で自分の腕を試そう」と覚悟を決めて帰国。一社員として現場を学ぶことからスタートし、2005年に四代目社長を承継いたしました。



3 1



4 2



5



6



4 2

ほんだポンプを躍進させた ステンレスポンプとオーダーメイド

当社が道を拓いた最初のきっかけは、鉄製ポンプが一般的であった1967年に、他社に先駆けて、耐腐食・耐摩耗のステンレスポンプの生産を開始したことです。ほんだポンプは「工場の心臓」として、多岐にわたる産業分野で採用されるようになっていきました。

それでも、粘性が高い液体を扱う場合など、ポンプの性能が十分に活かしきれない現場は少なくありません。技術の進歩に合わせて複雑かつ多様化するニーズに応じるため、「100%オーダーメイドポンプ」製造の体制を構築し、ニッチな分野の展開に注力しました。今では石油化学や半導体、医療分野、食品



龍造寺社長

メーカーなど、あらゆる業種の方々からご相談をいただいています。

オーダーメイドの受注生産へシフトしたことにより、従来の課題であった「売って終わり」の姿勢も改めることができました。ポンプは回転部が摩耗しますのでアフターメンテナンスは必須です。独自性の高い製品の提供は、その機能を知り尽くしたアフターメンテナンスの質と技術が求められます。そうした環境が人財の育成につながることも、永きにわたるサービス提供とほんだポンプの信頼を築いていきました。

大手メーカーが台頭する中、当社は国内の主要メーカーをはじめ世界65カ国以上の取引があり、国内外の国家プロジェクトにも採用いただいています。現場主義を徹底し、クライアントから相談や提案を受けた際には、世界のいずれの場所であっても現場へ向かい、対応しております。

**グローバルに活躍する人財の育成
独立心を応援し自由に翔ける環境を**

日本を始め世界各国で需要を伸ばす当社



- 1.対談風景
- 2.本社1階に並ぶ各種製品
- 3.設計部門オフィスを見学
- 4.世界に誇る「ほんだポンプ」
- 5.製品細部の説明を受ける
- 6.広大な工場内敷地。天井には自然光を取り込む採光口がある
- 7.オーダーメイドを実現する高い技術力
- 8.出荷を待つ製品の数々
- 9.スリランカ出身の社員ナマラさんと談笑
- 10.創立記念Party
- 11.企業メッセージ

HONDA PUMPS



最前列左4人目から龍造寺社長、山川頭取、島支店長兼福岡営業部長(十八親和銀行)

の宝は、グローバルな人財です。九州を中心に、日本の大学に留学して学ぶ優秀な外国人学生の方々が、製造からメンテナンスまで一貫して受注できる体制に魅力を感じてくれ、入社後には即戦力として海外展開を支える存在になっています。

当社では、外国人社員も日本企業の現場を一から学び、本多機工の社員としての意識と知識を身につけてもらいます。その後、自国で独立したいという場合は積極的にサポートします。将来にわたって相互に信頼関係を築きながら、日本と海外、当社と海外企業との架け橋として、大いに活躍してほしいと願っています。もちろん、日本人社員も海外の現場へ送り、海外事情を意欲的に学べる機会を設けております。

不安定な世界情勢の中でも、国内生産にこだわり、メイドインジャパンのクオリティに誇りを持ってお届けしています。確かな品質と誠実なものづくりを追求し続けることが、独立して活躍してくれている社員への感謝と信頼の証であり、彼らが胸を張って当社の製品を取り扱えるよう、品質と技術力を磨き続ける所存です。

「感動」がチャレンジ精神を生む 心に響く仕事を 全ての社員に経験させたい

当社のモットーの一つである「感動」は、すなわち仕事への感動、心をふるわせる経験であり、それがチャレンジ精神の原動力になると捉えています。例えば、2011年東日本大震災に関連した案件では、風評被害の問題もあり受注を簡単に決断できる状況ではありませんでしたが、有事発生下の社会の安全を願う一心で、請け負うこととしました。困難な現場で、当社の製品が今も問題解決への一助を担っています。九州に進出した海外半導体メーカーにも採用され、新たな時代を担う工場に、自分に関わる製品が使われていることに感動を覚える従業員も少なくありません。その熱量が、新たなチャレンジにつながると思うのです。

当社近くの国道沿いのある場所に、『感動する心を大切に』とのキャッチコピーを掲げた企業の看板を設置しています。これは社員に向けたものであると同時に、私自身の意識を高めるメッセージでもあります。毎朝の出勤時にこの看板を見て、「従業員が感動できる

仕事を獲得しよう。それが自分の使命だ」と胸に刻んでおります。

業界のニッチトップへ

世界で躍動する100年企業を目指す

オーダーメイドポンプは、液体移送のソリューションであり、まだ見ぬ未来の技術へとつながるものです。大量生産できないニッチで高度な領域のニーズに応えることが使命であり、当社を育てていただいた地域への貢献になると考えています。さまざまな企業が新たな挑戦に向かうとき、そこには必ずポンプが必要になります。ほんだポンプはその挑戦を支え、共に生きる存在であり続けます。今後も世界は刻々と情勢を変化させて行くでしょう。中でも、インドにおける昨年度のGDP成長率の高さは目覚ましく、大きな発展が予測されます。かつて長崎が出島として日本と世界をつないだように、九州はアジアの玄関口という役割を担っています。当社も九州に拠点を置く一員として、アジアそして世界に向けてほんだポンプの高品質・高技術を安定的に提供し続け、世界で活躍する「100年企業」を目指してまいります。

■ インタビューを終えて

十八親和銀行 取締役頭取 山川 信彦



国や企業の発展にとって欠かせない「工場の心臓」というべき製品を、オーダーメイドに徹して開発される技術力と対応力の高さは、他社の追随を許さないものとなっています。また、あらゆる困難な状況に最適解を提供する真摯で誠実な姿勢が、国境を超えて世界の注目を集めている理由なのだろうと改めて感じさせていただきました。グローバル体制を整え、ジャパノクオリティを安定的に届ける当社の「100年企業」への歩みが、今後ますます発展されることを期待しております。